

11月1日、秋田県庁正庁で秋田県文化功労者表彰式が行われ、西明寺診療所所長の市川晋一さんが地域医療・保健の向上の分野で表彰されました。

市川さんは、泌尿器科（排尿障害）専門医で、県内唯一の排泄ケアを研究し実践する「秋田県コンチネンス勉強会」を設立し、排泄ケアの指導に尽力され、住民への啓発活動とともに、介護・訪問看護師研修講座での講演などを通じ人材育成にも取り組んでいます。

また、へき地の農村医療を志し、西明寺診療所で診療を開始してから今年で22年目となり、日常診療をはじめ、夜間休日救急診療など急速な高齢化と過疎化が進む地域において住民が安心して生活するための最後の砦となり、日々奮闘されています。

秋田県文化功労者表彰 市川晋一さんが受賞



佐竹敏久知事（左）から表彰を受ける市川晋一さん（右）。



厚生労働大臣表彰を受賞した大高詳一郎さん。

国民健康保険関係功績者 厚生労働大臣表彰

大高詳一郎さんが受賞

このたび、仙北市国民健康保険事業の運営に関する協議会委員（保険医代表）の大高詳一郎さん（菅原医院院長）が国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰を受賞し、その伝達式が11月21日、市役所角館庁舎で行われました。

大高さんは、平成10年4月から平成17年9月まで角館町国民健康保険運営協議会委員を務めたほか、合併後も平成18年から委員を務め、現在に至ります。

今回の受賞は、菅原医院の院長として地域医療を支え、また長きにわたり国民健康保険運営協議会の委員として国民健康保険事業の運営に尽力されたことが評価されたものです。

令和4年度秋田県優良技能者

杉山早人さんが秋田県知事表彰を受賞



杉山さんが製作した北浦土人形土鈴。

このほど、令和4年度秋田県優良技能者が発表され、人形製造工の杉山早人さん（工房 北の仲間たち）が秋田県知事表彰を受賞しました。

これは、秋田県が技能者の地位および技能水準の向上を図ることを目的に、県内の優良技能者および業績が極めて優良で他の模範になると認められる個人などに対して表彰を行うものです。

杉山さんは、陶芸や石膏の技能と現代美術の知識を生かして「北浦土人形土鈴」を創作。繊細な線描技術に加えて、

石膏を削り上げることで繰り返し使用可能な独自の原型を作る技能に卓越しています。また、各分野の作家を集めた美術工芸展を企画開催し、工芸作家の交流の場を創出するほか、工房での体験教室などを通じて技能の指導や継承への取り組みなども評価され、今回の受賞となりました。



右から赤上副市長、杉山早人さん、田口市長。



令和4年度民謡民舞全国大会では、惜しくも内閣総理大臣賞の栄光を掴むことはできませんでしたが、準優勝と健闘しました。

高橋キヌ子社中が全国大会で活躍

10月22日、さいたま文化センター（埼玉）で開催された一般財団法人郷土民謡協会が主催する令和4年度郷土民謡舞全国大会に出場した秋田県（熊谷信子会長）が、内閣総理大臣賞争奪戦まで勝ち進み「準優勝」と、秋田県では初の栄誉に輝きました。

また、10月29・30日、川崎市カルツかわさき（神奈川県）で開催された公益財団法人日本民謡協会が主催する令和4年度民謡舞全国大会に出場した秋田県（熊谷信子会長）が、内閣総理大臣賞争奪戦まで勝ち進み「準優勝」と、秋田県では初の栄誉に輝きました。

表紙の写真から



給食は黙食ですが、1年生の児童たちからは笑顔がこぼれていました。



小原正彦代表理事組合長（右）から須田教育長（左）に手渡されました。

秋田おばこ農業協同組合から 学校給食にサキホコレを無償で提供いただきました

このたび、秋田おばこ農業協同組合（小原正彦代表理事組合長）から市内小中学校の給食に今秋から本格的な販売が始まった秋田米新品種「サキホコレ」160キログラムを無償で提供いただき、その贈呈式が11月15日、市役所西木庁舎で行われました。

これは、同組合が食育教育事業の一環で実施しているもので、管内の小中学校に1日限定で提供されました。

市内の小中学校には、11月22日の給食で振る舞われ、取材に訪れた角館小学校では初めてのサキホコレを児童たちがとても美味しそうに食べていました。

伝建地区で 火災を想定し訓練

11月27日、紅葉も一段落した角館伝統的建造物群保存地区で火災を想定した放水訓練が行われました。

同訓練は角館消防署と仙北市が主催、角館北地域自主防災会と角館伝建群保存地区の町並みを守る会の会員や仙北市消防団第7分団など約30人が参加しました。

訓練に先がけて、角館消防署による水消火器を使用した消火体験や、煙の充満したビニールハウスをくぐり抜ける煙道体験を実施しました。

訓練では、武家屋敷「河原田家」からの出火を想定し、発煙筒や火災報知ベルを合図に、自主防災会員の放水銃・消防団の水幕ホース・消防署のタンク車からの放水を実施し、初期消火から延焼防止の一連の流れを確認しました。

これから寒さが一層厳しくなりますが、暖房や台所の火の元に十分注意してお過ごしください。

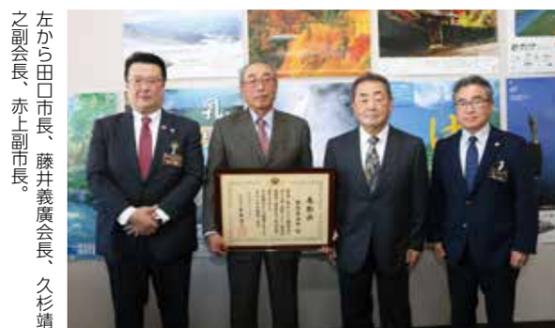


手順を確認しながら実際に放水が行われました。

仙北市角館伝統的建造物群 保存地区防災訓練

第29回「鉄道の日」国土交通大臣表彰

荒町集落会が受賞



左から田口市長、藤井義廣会長、久杉靖之副会長、赤上副市長。

荒町集落会では神代駅の駅舎を含む周辺環境の整備を続けており、これまでの奉仕活動が認められ国土交通大臣から表彰されました。

11月22日、市役所田沢湖庁舎を訪れた荒町集落会の藤井義廣会長と久杉靖之副会長から、鉄道の日である10月14日、国土交通省で行われた表彰式に出席してきたことが報告されました。表彰は、JRや私鉄関係が多く、集落会などのボランティアで表彰されたのは全国で8組だけであったことなど、田口市長へ報告しました。

田口市長からは「地道な活動が認められ、大臣名で表彰されることは素晴らしいこと。皆さんが駅を大切に守ってこられた功績だと思う。地道な活動によって駅を守ってこられたことに對し、市民を代表して感謝申し上げたい」と話しました。